

【的中問題！】一部ご紹介致します！

大原：公開模擬試験－第9問

ある中小企業では、仕入記録のリレーショナルデータベース化を検討している。次の表を第3正規形まで正規化を行った場合、いくつの表に分割されるか。最も適切なものを下記の解答群から選べ。解答は問9へマークせよ。

伝票番号	製品番号	製品名	仕入単価	仕入先番号	仕入先名	仕入数量
H001	KJ01	ケーブル	5,000	A001	A社	1
H002	KJ02	配電盤	10,000	B001	B電工	4
H002	KJ01	ケーブル	5,000	B001	B電工	2
H003	KJ01	ケーブル	5,000	A001	A社	3
H003	KJ04	蛍光管	1,000	A001	A社	12
H004	KJ03	アンテナ	20,000	C001	C工業	5

本試験：第8問

以下に示す表は、ある小売店が利用している受注管理表の一部である。この表に関する正規化の観点からの記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。ただし、枝番は1回の受注で商品コード別に連番で発行される番号であるとし、単価は商品コードによって一意に定まるものとする。

受注番号	枝番	受注日	得意先コード	商品コード	販売数量	単価
10001	1	2023-04-01	9876	P101	1	30,000
10001	2	2023-04-01	9876	P201	2	15,000
10001	3	2023-04-01	9876	P301	5	10,000
10002	1	2023-04-02	5555	P201	1	15,000
10002	2	2023-04-02	5555	P401	3	20,000

大原：公開模擬試験－第23問

UML (Unified Modeling Language) は、開発中のオブジェクト指向システムの成果を定義し、視覚化し、文書化するための言語である。

以下の①～④に示すUMLの概要とその名称の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。解答は問23へマークせよ。

- ① システムが持つ機能を表現
- ② オブジェクトの相互作用を時間経過に沿って表現
- ③ システムの構成要素とその相互作用を静的に表現
- ④ 業務手順、ワークフローを表現

[解答群]

- ア ①：ユースケース図 ②：クラス図 ③：シーケンス図  
④：アクティビティ図
- イ ①：クラス図 ②：シーケンス図 ③：ユースケース図  
④：コミュニケーション図
- ウ ①：ユースケース図 ②：シーケンス図 ③：コミュニケーション図  
④：アクティビティ図
- エ ①：シーケンス図 ②：ユースケース図 ③：クラス図  
④：コミュニケーション図
- オ ①：クラス図 ②：シーケンス図 ③：相互作用概観図  
④：アクティビティ図

本試験：第17問

システム開発に利用されるモデリング手法には、DFD、ER図、UMLなどがある。それぞれの手法に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。

- a DFDは、データの流れてに着目して対象業務のデータの流れと処理の関係を記述する。
- b ER図は、システムの状態とその遷移を記述する。
- c UMLにおけるアクティビティ図は、システムが提供する機能を記述する。
- d UMLにおけるシーケンス図は、オブジェクト間の相互作用を時系列に記述する。
- e UMLにおけるユースケース図は、業務や処理の実行順序を記述する。

**⑥ 経営情報システム**

(ご注意) 本解答・配点は、令和5年8月7日(月)に一般社団法人中小企業診断協会 (<http://www.jsmecca.jp/index.html>) から発表されたものです。

問題	設問	正解	配点
第1問	—	エ	4
第2問	—	イ	4
第3問	—	エ	4
第4問	—	オ	4
第5問	—	イ	4
第6問	—	イ	4
第7問	—	オ	4
第8問	—	ア	4
第9問	—	ア	4
第10問	—	イ	4
第11問	—	エ	4
第12問	—	ウ	4
第13問	—	ウ	4
第14問	—	イ	4
第15問	—	イ	4
第16問	—	エ	4
第17問	—	イ	4
第18問	—	エ	4
第19問	—	オ	4
第20問	—	ウ	4
第21問	—	ウ	4
第22問	—	イ	4
第23問	—	オ	4
第24問	—	ウ	4
第25問	—	ア	4
合計	25問		100